



2-A 応答のパターン

次に、返事の文について考えます。会話では、ある文とそれに答える文には、次のような関連があるのが基本です。ここではまず、会話のパターンに沿って話が流れているかどうかの注意します。

はじめの文	答える文
質問 (例) 晩ご飯、何が食べたい？ (例) あの映画、見たことある？	情報提示 (例) 天ぶらがいいな。 肯定 (例) うん、見たよ。 否定 (例) ううん、まだ。
誘い・依頼・申し出・許可求め・提案・勧め (例) あした映画見に行かない？	受け (例) いいよ。行こう。 断り (例) うーん、あしたは無理だな。
苦情・注意 (例) ここに車を止めないでください。	謝り (例) あ、すみません。 反論 (例) ここは止められるところですよ。
意見・感想・主張 (例) こっちの方が軽くていいと思うな。	同意 (例) そうだね。そっちがいいね。 不同意・反論 (例) でも色はこっちがいいんじゃない？
報告 (例) あの人、結婚するんだって。	感想(驚き・怒り)・了解など (例) えー！ しらなかった。
愚痴・相談 (例) 最近よく眠れなくて。	アドバイス・励まし・共感など (例) お医者さんに診てもらったらどう？
謝り・感謝 (例) 遅くなってすみません。	受け (例) いえいえ、大丈夫ですよ。
褒め・勧め (例) 素敵な洋服ですね。	謙遜・お礼・断り・遠慮 (例) 古い物なんですけど。
あいさつ (例) お先に失礼します。	あいさつ・お礼 (例) お疲れ様でした。



N2 聴解タスク

また、話している状況や伝えたい内容を理解するために、次のような決まった表現にも注意します。話している状況や伝えたい内容を知る手がかりになります。

【あいさつなどに使われる表現の例】(「ー」は答え)

会ったときのあいさつ	お礼	受け
先日はどうも お世話になっております ご無沙汰しております お変わりありませんか ーおかげさまで ー相変わらずです ごめんください	お世話になりました 助かりました わざわざすみませんでした 悪いなあ／悪かったね	どういたしまして 構いません (それで) 結構です
別れるときのあいさつ	謝り	その他
お気をつけて (お先に) 失礼します お大事に お疲れ様でした ご苦労様でした お邪魔しました	ご迷惑をおかけしました すまなかったね 申し訳ございません 悪いね／悪かったね	(いいえ、) 結構です〈断り〉 申し訳ないんですが〈断り〉 悪いんだけど〈断り〉 とんでもないです 〈謙遜〉 お口に合うかどうか〈勧め〉 ーお構いなく〈遠慮〉

練習 2-A

文を聞いて、それに対する返事の文を聞き、よい方を選んでください。

- (例) (a ㊞)
- (1) (a b)
- (2) (a b)
- (3) (a b)
- (4) (a b)
- (5) (a b)
- (6) (a b)

Credit by Trang sensei